



寺岡地区しゅきょう

令和5年12月20日

寺岡地区社会福祉協議会
会長 高橋 和江



世代間交流事業 するめてんばた作りにチャレンジ！

はじける笑顔「舞い上がれ！」

寺岡児童センター共催



「てんばた」は漢字で書くと天旗で、「凧」という意味です。形がスルメに似ていることから、「するめてんばた」と呼ばれています。江戸時代からある凧で、仙台を中心とした地域の伝統的な手作り凧です。

屋外は前夜の雨で水たまりがあり、屋内での凧揚げとなりました



受付はクリスマス仕様



寺岡児童センター遊戯室で凧作り

「もういくつ寝るとお正月、お正月には凧揚げてコマを回して遊びましょう」と童謡「お正月」の歌詞にあるように、凧揚げはお正月の定番の遊びでした。12月16日寺岡児童センターと共催で、世代間交流事業「するめてんばた作りにチャレンジ！」を行い20名の親子さんと一緒に伝統的な凧作りを行いました。

凧は向かい風になるようにして凧を揚げるので、やはり風が無い状態で凧を揚げるとなるとかなり難しく、試作品の時は強風のためうまく上がりませんでした。この日は前夜の雨で屋外は水たまりができ断念、屋内で揚げることになりました。児童センターの遊戯室内で出来上がった凧を走りながら空中に浮かべることができると、得意顔の嬉しそうな子ども達に歓声と拍手が響きました。予め考えてきた凧の絵を描き、竹ひごを曲げてボンドで接着する際は、付き添ってきた保護者や社協スタッフに手伝ってもらいながら全員完成させることができました。子ども達からは「凧がうまく飛ばせて楽しかった」保護者からは「うまくできるかどうか心配でしたが、上手にできて良かった」などの声が聞かれました。



心つないで 安心笑顔の 街づくり

